

魚沼スキークラブNEWS

2020年12月 No.111

発行 魚沼スキークラブ事務局

e-mail moco-t@ski.email.ne.jp、uonumaskiclub@yahoo.co.jp

Tel&Fax 025-792-1351 新潟県魚沼市井口新田 457-6 高橋方

HP アドレス <https://www.facebook.com/uonumaskiclub/>

魚沼スキークラブ掲示板 http://6718.teacup.com/bg5_4seasons_legacy/bbs

魚沼スキークラブで検索!!

「市民のスキー場を考える会」活動報告

署名活動やカンパの結果、その後の情勢など

魚沼市 高橋知子

署名活動 「魚沼市スキー場の持続可能な運営を願う嘆願」の署名活動が18,344名ものたくさんの方々からご賛同いただきました。ありがとうございました！署名期間を過ぎてもなお署名が集まり、それらをまとめ、市長（代理武藤産業経済部長）と遠藤市議会議長に署名簿と嘆願書と重たい署名の束。18,000を超える皆さまの思いは、本当に無駄にはできないと責任を感じました。

市当局もこの思いを受け止めて、来年4月からはスキー場に於ける“無償譲渡のみ、財政支援は譲渡時のみ”という方針を見直してくれることを切望します。



魚沼市スキー場の持続可能な運営を願う嘆願署名

18,344名

署名数 16,782名 / デジタル賛同数 1,562名

魚沼市内を始め、市外からもたくさんの署名が集まりました！

ご協力本当にありがとうございます！
12月2日魚沼市長・魚沼市議会議長に嘆願書と署名簿を提出しました。

今後の進捗状況など当会で発信してまいります。
引き続きご支援・ご協力何卒宜しくお願いします！

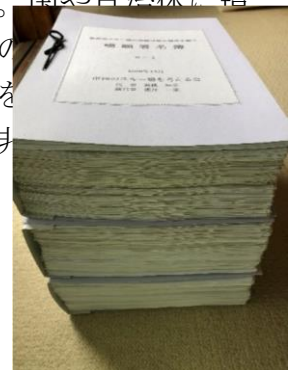
市民のスキー場を考える会
<http://for-uonuma-skiarea.blogspot.com>

全国からの賛同は

この度の署名運動では、新日本スポーツ連盟の方の仲間からもたくさん、署名をお寄せいただきました。スポーツ（スキー）は万人の基本的権利であることがしっかりと根付いていることの証しだと感じました。



（スキー）ができるためには、環境の改善や生活の安定が求められます。国や自治体への環境整備や改善を求めていくことも重要な運動です。雪国にとって、地元での役割は非常に大きいです。たとえ訪れることがなくても、またスキーをかわらず、また選挙民であるなしにかかわらず、この賛同の意思表示は非常に重要だと思います。



す。皆さまのご支援に心より御礼申し上げます。

市民の会へのカンパ

市民の会ではワークショップチラシや署名用紙の印刷代、新聞折込料ほ

か、多額の経費がかかっていますが、魚沼スキークラブとして92,200円のカンパをいただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました！！ **新魚沼市長誕生！**

11月29日告示、12月6日投開票の市長選挙は、ご存知のとおり新人、内田幹夫氏が当選しました。「市民のスキー場を考える会」の署名活動は、選挙運動とは別のものです。会として選挙にかかわることはできません。ただ、現職市長はスキー場事業者が廃業せざるを得ない条件を出し、交渉に応じてくれず、交渉が頓挫したままで選挙戦に突入しました。スキー場は市長が替わらなければ見込みなしと言わざるを得ない状態でしたので、署名運動終了後、個人として選挙運動に参加しました。どちらの候補に魚沼市の未来を託すかは、一人ひとりの自由な選択です。今回はスキー場問題がある為、スキー場の必要性を認める内田氏が選出されたことで少し見通しがついたと思います。ご支援ありがとうございました！！

スキー場問題は非常に難しい問題で、10年以上、しっかり向き合うことなく先送りされて現在に至っています。魚沼市にとって、スキー場はどうあるのが望ましいのか、市と事業者と議員や市民を交えて、真剣に検討していく必要があると考えます。署名と選挙が終わっても、なんら解決はしていません。今後も関わり続けていかねばならないと考えています。ぜひ、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

「市民のスキー場を考える会」の取組みの中で思ったこと

魚沼市 五十嵐清子

令和3年3月31日をもって、魚沼のスキー場運営が困難という状況であることを知って、クラブとして何ができるかと話し合いました。クラブにとってのスキー場、魚沼市にとってのスキー場が果たしている役割について話し合い、なんとしてももう一度スキー場継続を実現させていきたいと、高橋さんが中心になって、熱く熱く関係者に呼び掛けて、「市民のスキー場を考える会」を立ち上げました。

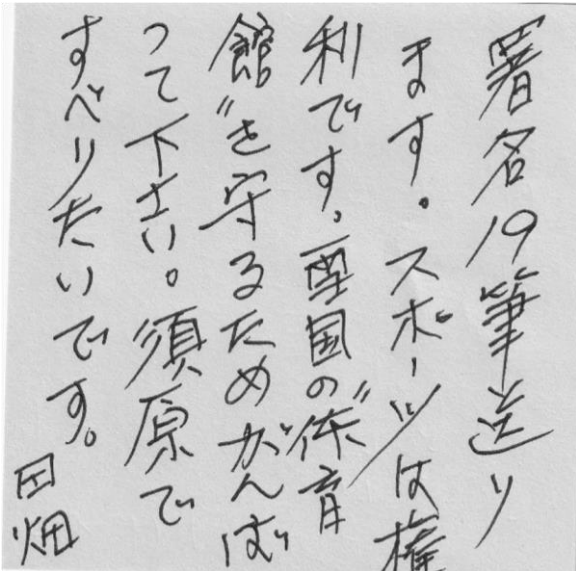
会では、地域（広神、堀之内、小出、湯之谷、守門）ごとにワークショップを開いて、スキー場の価

値と存続について話し合いをしました。魚沼市の冬季雇用の場として、観光や地域振興、教育やスポーツ振興の場として、スキーは生涯スポーツとして子どもからシニアまで楽しめる場として、雪資源の活用の場として大切であると訴える要望書を出したり、署名活動をやってきました。署名にまわってみて、さまざまな声があったけれど、魚沼市にスキー場は必要という声を多く聞きました。しかし、市長は議会で決めたことだからとか、民間でできることは民間でなどと聞く耳を持ちません。

行政は誰の為に、何の為にあるのだらうと置いてしまいます。もっと想像力をめぐらすと、市長の姿勢は、自助努力を叫び、公助をしぶる国のトップと重なります。

スキー場は魚沼市の宝であり、財産であり、魅力の一つです。スキー場は市の支援なしには運営はできません。もう一度、事業者と市民と市が力を合わせて、スキー場存続の道を開いてほしいと切に望みます。

署名と一緒に届いた激励のメッセージをご紹介します



まだまだ他にもたくさんメッセージを頂きました。力強い言葉、うれしい言葉、本当にありがとうございました！
ぜひ、須原へお越しく下さい！

前略

日頃のスキ協活動拝見しています。
雪国そのスキー場は命のようなもの
人々のスキーを楽しむ権利を
守り発展させるため頑張ってください。
- 昨年 ホームゲレンデ 木曽福島スキー
場を守るため 関西からもたくさん人の署名
を送って 昨年無事 新社の運営で
楽しむことが出来ました。
ちょっと遠くで訪れることができませんが
近隣の方々のため 継続・発展を祈願
しております。 京新西山と塩谷

有志による「市民のスキー場を考える会」（高橋知子代表）は、魚沼市スキー場の持続可能な財政支援を市に求める署名活動を十月から市内外で行ってきたが、十一月七日には本町のスーパーサカキヤ入口で街頭活動を行った。

小出スキー場、葉師スキー場、大湯温泉スキー場、須原スキー場、大原スキー場の五つのスキー場は完全民営化に向けて今年度末で施設などの無償貸与契約が満了し、市からの財政支援が受けられなくなるが、市民のスキー場を考える会では「フトや庄雪車のメンテナンス

スキー場の存続を願って考える会が街頭署名活動

「署名は市内の店舗などに署名用紙回収箱を設置したり、市外のスポーツ用品量販店で街頭活動を行うなどして集められており、市内での街頭活動は今回初めて行われた。この日の活動では高橋代表ら会員三人が店の二つの入口に分かれて立ち、「スキー場存続のために署名をお願いします」と買物客に協力を呼びかけた。「スキー場くらいい



11月7日にサカキヤ店頭で行われた街頭署名活動

